



令和5年度 加古川小学校の教育

151年目 加古から未来への第一歩

学校教育目標 「健康で豊かな心を持ち、自ら学び続ける子どもの育成」
— 伸びゆく子 —

〈めざす子ども像〉

- よく考える子 進んで学び深く考える子（主体性、思考力・判断力・表現力の育成）
- 心豊かな子 豊かな心を持ち、人を思いやる子（自他の尊厳の尊重）
- たくましい子 自らを鍛える健康で明るい子（心身の健康・気力の充実）
- 力を合わせる子 協調的な態度で人と接することのできる子（共生と協働）

「確かな学力」を培います

わかる・できるから
つかう・つくる学力へ

- (1) 協同的探究学習を核とした授業改善（ICTとの融合）を推進し、「わかる学力」を育成します。
- (2) 学習習慣（ノート作り）の定着と「できる学力」の確実な習得を図ります。
- (3) 読書活動や各教科の言語活動（話し合い）を充実させ、「できる学力」「わかる学力」を下支えする「ことばの力」の育成に努めます。

「豊かな心」を育てます

自他の尊厳を認め合う
心づかいと思いやり

- (1) 道徳の時間を要として命を大切にする気持ちや他人を思いやる心を育てます。
- (2) 教育環境の整備（掲示板の活用）に努めるとともに、全校音楽等を通して情操教育の充実に努めます。
- (3) 互いを認め合い、自尊感情を高める人権教育（アセスの活用）を進めます。

「健やかな体」を養います

心身の健康増進と
安全・安心な生活習慣

- (1) 運動への興味・関心を高め、体力づくりの日常化（ストレッチ）を図ります。
- (2) 発達段階に応じた保健安全指導を通して、健康で安全な生活（自主的なケガ防止）を営む態度を育てます。
- (3) 様々な自然災害から、自らの命を守るための能力の育成（想定訓練の充実）を図ります。
- (4) 給食等を通して、食育指導の充実を図ります。

「人間関係を築く力」を育てます

自他の人権尊重と他者との協働

- (1) 「居場所」と「出番」のある学級経営（係・当番活動の工夫）を行い、児童相互のより良い人間関係を育てます。
- (2) 様々な集団活動（異学年交流の推進）を通して、他者と協働する態度を育てます。
- (3) 「いじめ防止基本方針」及び「いじめ防止対策改善プログラム」に沿って、人間的なふれあいに基づく生徒指導（アセス・相談アンケートの活用、教育相談日の実施）を実践します。

「地域総がかりの教育」を進めます

連携・協力・支援・情報共有

- (1) 「学校園連携ユニット」を充実させるとともに、学校運営協議会の適切な運営を図り地域とともにある学校づくり（連携意識の向上）を推進します。
- (2) 学校新聞「松の泉」やホームページを適時更新して、学校の様子を情報共有します。

職員は研修と業務改善に努め

豊かな人間性と指導力の向上を図ります

学び続ける姿勢

- (1) 研修（研究と修養）の機会を充実させるとともに、OJTを通して実践的な指導力の向上に努めます。
- (2) 倫理研修や人権研修で、コンプライアンス推進に努めるとともに、人権感覚を磨きます。